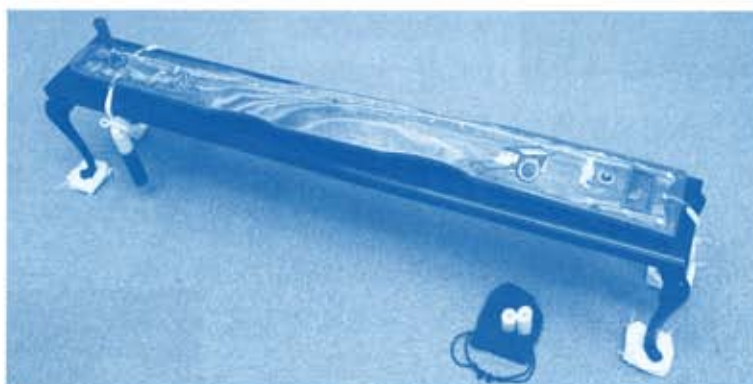


所蔵資料の紹介

◆土佐の一弦琴（とさのいちげんきん）

細長い胴の上に一本の弦を持つ珍しい琴。平安時代初期に大陸から伝来したが、明治以降西洋楽器の普及によりほとんどが消え稀有な伝統楽器となっている。幕末の土佐（高知県）に楽器と奏法が伝えられ、演奏技法は「正曲」としての正統性を現代にまで誇っている。徹（き）はトンガ産の貝（12か所にはめ込み）を使用。山本忠重作。分類は弦鳴楽器、チター属。（サイズ：幅112×奥行13cm）



土佐の一弦琴

◆玄海琵琶（げんかいびわ）

筑前琵琶の一流派（山田紫弦）名を玄海琵琶と呼ぶ。筑前琵琶は明治中期頃、薩摩琵琶を研究して筑前盲僧琵琶を改良した楽器で、小型の4弦のもの（四弦）とやや大きい5弦のもの（五弦）がある。撥（ばち）は義太夫三味線の撥に似た形で薩摩琵琶よりやや厚い。4弦5柱（固定フレット）の筑紫系琵琶。分類は弦鳴楽器、リュート属。製作は明治中期。（サイズ：高さ94×幅33×奥行30cm）



玄海琵琶

MIN-ON
MUSIC
MUSEUM

事業報告

平成 18 年 (2006 年) は次の事業を遂行した。

1 音楽資料の収集・保存

音楽図書資料 (和書・洋書) 500 冊、逐次刊行物 60 タイトル、楽譜資料 (管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等) 100 点、視聴覚資料 (CD、DVD、VHS 等) 184 点を収集。

2 古典ピアノ、自動演奏ピアノ、オルゴール、民族楽器等の収集と常設展示



古典ピアノ室 (鑑賞風景)

- 「古典ピアノ室」では、展示資料の解説とともに当館所蔵の古典ピアノ等 (16～20 世紀) を当館スタッフが演奏、また自動演奏ピアノを実演した。
- 「オルゴール室」では、オルゴールの歴史を概観できる代表的機種とストリート・オルガンやオートマタを展示し、実演と解説を行った。
- 「楽器展示室」では、世界各地の代表的な民族楽器 (約 100 点) を体系的に分類展示。太鼓やスティール・ドラム、木琴等には自由に触れて音も出せる展示法も行った。また、資料の演奏法等をパソコンで説明・紹介した。

3 企画展示の開催

①「三国志の英雄たち

～京劇の舞台衣裳と音楽資料展～

開催期間／平成 18 年 3 月 3 日 (金) — 5 月 14 日 (日) [64 日間]

参観者数／37,019 人

中国京劇院の全面協力により、京劇の人気作品「三国志」に登場する人物、孔明、玄德、曹操らに独特のメーキャップ (臉譜) を施した等身大の人形 10 体に舞台衣裳を着せ、京劇で使用する民族楽器群と共に展示。



三国志の英雄たち
～京劇の舞台衣裳と音楽資料展～

②没後 30 周年記念展「我等のテナー～藤原義江展」

開催期間／平成 18 年 5 月 18 日 (木) — 7 月 9 日 (日) [50 日間]

参観者数／17,510 人

昭和初期に日本人で初めてビクターの赤盤歌手となり、世界的に活躍、また藤原歌劇団を創設して、日本オペラ界の発展に輝かしい貢献をした“我等のテナー”藤原義江の没後 30 周年を記念して、その功績と人生のドラマを遺品と写真、公演プログラム、上演オペラの台本などの音楽資料を通して紹介。



我等のテナー～藤原義江展

③「夏休み子どものための楽器展」

開催期間／平成 18 年 7 月 14 日（金）— 9 月 10 日（日）

[51 日間]

参観者数／15,713 人

世界各地の興味深い民族楽器を“気鳴”“膜鳴”“弦鳴”“体鳴”の4つの性格に分けて展示。実際に見て、触って、音を出して楽しむ楽器展を開催し、多くの子ども達が各国のユニークな楽器を一つひとつ手に取って楽しむ機会を提供した。



夏休み子どものための楽器展



モーツァルトを旅する
～海老澤 敏 コレクション モーツァルト展～

④モーツァルト生誕 250 年記念展

「モーツァルトを旅する

～海老澤 敏 コレクション モーツァルト展～」

開催期間／平成 18 年 9 月 15 日（金）— 12 月 24 日（日）

[88 日間]

参観者数／47,380 人

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの生誕 250 周年を記念して、神童と言われた時代から巨匠と成った時代までに彼が残した貴重な自筆譜、自筆書簡や肖像画、そしてモーツァルトの実像に迫るために欠かせない、彼に縁し、影響を与えた人々に関する豊富で貴重な学術資料など海老澤敏氏のコレクションを中心に展示。モーツァルトの素顔を浮き彫りにするモーツァルト・イヤールの掉尾を飾る企画展示を行った。

⑤「クロアチア～現代の創造者展」

開催期間／平成 18 年 10 月 11 日（水）— 11 月 12 日（日）

[29 日間]

参観者数／15,729 人

クロアチア国立民族合唱舞踊団の協力を得て、クロアチアを代表する世界的写真家イヴォ・ベルヴァン氏の祖国を愛してやまない風光美の数々の作品、さらに国際的に活躍する画家ドラギツァ・ロンチャリッチ女史の音楽的感性を煌かせる水彩画を展示。クロアチアの美しく豊かな自然と繊細で想像力と活力に溢れた芸術を通してクロアチアの魅力を紹介する異文化交流展を行った。



クロアチア～現代の創造者展

4 文化講演会 & 記念コンサートの開催

①「京劇の世界を語る」

京劇の追究～3つの特徴をめぐって～

特別企画展「三国志の英雄たち～京劇の舞台衣裳と音楽資料展～」を記念し、中国京劇院の呉江院長が京劇の魅力と本質を講演。呉江氏は京劇が青少年や民衆にとって娯楽のみならず、中国の歴史、思想、慣習、倫理を学ぶ貴重な機会を提供してきたと前置きし、京劇特有の形式美を劇団員の演技を通して分かり易く解説した。

講師／呉江（中国京劇院 院長）

演技／石山雄太（京劇俳優）他

開催／平成18年3月3日（金）民音音楽博物館・ミュージアムホール 参加者数 155名

3月4日（土）リーガグランドホテル大阪 参加者数 193名



「京劇の世界を語る」
京劇の追究～3つの特徴をめぐって～

②「イェルク・デームス コンサート」



イェルク・デームス コンサート

新規に収集した古典ピアノの公開に際して記念コンサートを開催。ピサ・チェンバロ（16世紀イタリア）、ポローニャ・チェンバロ（17世紀イタリア）、エラール・グランド・フォルテピアノ（19世紀フランス）でバッハ、モーツァルト、ドビュッシー等の名曲を演奏。作曲された当時の楽器により、その時代の音楽を再現した。

ピアノ／イェルク・デームス、ヴァイオリン／原田陽^{あきら}

開催／平成18年3月20日（月）

民音音楽博物館・古典ピアノ室 参加者数 117名

③「指揮者の現場から見たクラシック音楽の魅力」

コンサートのプログラムを立案する難しさと妙味、楽団員一人ひとりを把握することの大切さ、少ない練習時間で公演当日を迎える覚悟など、指揮者の仕事を通して、エピソードなどを混えながら、クラシック音楽の魅力指揮者尾高忠明氏が講演。尾高遵子女史との連弾も披露し、クラシックの楽しさを紹介。

講師／尾高忠明（札幌交響楽団音楽監督、指揮者）

ピアノ／尾高遵子

開催／平成18年5月25日（木）

横浜市開港記念会館 参加者数 237名



指揮者の現場から見たクラシック音楽の魅力

④「シルクロード音楽の再発見」

民音派遣シルクロード音楽舞踊考察団（1977年～82年）の現地取材に基づいた視聴覚資料を通して、シルクロード（絹の道）を一本の太い幹として人間と音楽が織り成す豊かな文化交流の譜を紹介。

講 師／藤田敏雄（演出家）

開 催／平成18年6月16日（金） 静岡音楽館 参加者数168名

⑤「海老澤 敏レクチャー・コンサート／

モーツァルトを旅する」

世界屈指のモーツァルト研究者、海老澤敏氏が生誕250年を迎えた音楽の天才について愛情深く講演。その一言ひとことは含蓄に充ち、モーツァルトの実像を鮮やかに浮き上がらせた。レクチャーの合間には小川京子女史のフォルテピアノ（アントン・ワルター）演奏があり、モーツァルトの時代の音による往時の音楽を紹介。

講 師／海老澤 敏（日本モーツァルト研究所 所長）

ピアノ／小川京子

開 催／平成18年9月17日（日）、11月23日（木）

民音音楽博物館・古典ピアノ室 参加者数142名



海老澤 敏レクチャー・コンサート
／モーツァルトを旅する

⑤ 教育支援事業の推進

①「子どものための手作り楽器

音楽体験学習＆音楽会」（3日間 計6回）

◆講師／村瀬弘行と愉快的仲間たち

開催／平成18年4月16日（日）

民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数262名

◆講師／池田邦太郎、ヨイサの会

開催／平成18年7月29日（土）、30日（日）

民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数253名



子どものための手作り楽器音楽体験学習＆音楽会
村瀬弘行と愉快的仲間たち

②「総合学習」

東村山西高校他高等学校6校、鶴岡第一中学校他中学校17校、創価小学校1校、計24校361名の総合学習及び修学旅行生への見学学習支援を行った。

③「学芸員研修者受入れ」

昭和音楽大学他、大学の在学生計26名から学芸員資格取得のための研修希望があり実施した。



子どものための手作り楽器音楽体験学習＆音楽会
池田邦太郎、ヨイサの会

④「大学ゼミ見学等受入れ」

慶應義塾大学他、大学ゼミ研究のため計81名の学生より取材見学の希望があり実施した。

6 博物館来館者

平成18年 総計135,980名、平成9年9月開館当初からの累計来館者数は1,117,500人

①「福祉施設、団体及びサークル」

各障害者福祉協会計72名、各種団体・サークル計1,544名の見学希望があり実施した。

②「特別見学・その他」

国内外の公的機関関係者、教育者、アーティスト、文化人、マスコミ関係者等計713名の見学希望があり実施した。

③「一般来館者」

一般来館者、計132,633名が見学した。

7 音楽ライブラリー事業活動

①楽譜、図書、視聴覚資料の閲覧・貸出・視聴

平成18年は開館日数150日間、10,339名の音楽ライブラリー利用者(来館者)に資料の閲覧、貸出、視聴を実施。

②レファレンス(質問、調査依頼への回答対応)

年間8,000件以上の電話やメール(文書)による調査依頼にお応えしました。

(昭和49年11月開館以来の累計は361,000名 平成18年12月末現在の個人登録者数47,700名、団体登録数5,090団体)



音楽ライブラリーの利用光景

8 出版活動

①「民音音楽博物館だより」(平成18年春・夏・秋・冬 各号 計4回)

②「館報」(平成19年3月 第3号)

③企画展・展示案内:「三国志の英雄たち展」「藤原義江展」「夏休み子どものための楽器展」「モーツァルトを旅する展」「クロアチア～現代の創造者展」「竹久夢二と大正浪漫の世界展」

今後の事業予定

■音楽資料の収集・保存

楽器、音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存ならびに活用。

① 楽器等の常設展示の開催

古典ピアノ室、オルゴール室、民族楽器展示室等で、それぞれの資料を展示。

② 企画展示の開催

①「竹久夢二と大正浪漫の世界

～セノオ楽譜装画が語る～」展

開催期間／平成19年1月1日(祝)～4月15日(日)

竹久夢二が曲の内容をイメージして描いた「セノオ楽譜」の表紙絵は、明るくハイカラな大正ロマンの光彩を強烈に放ち、近代日本の音楽普及に大いに貢献した。約100点の楽譜装画と共に関連の音楽資料を展示。名曲たちが夢二のところに照らされて蘇る予定です。



「竹久夢二と大正浪漫の世界
～セノオ楽譜装画が語る～」展

②「華麗なる宝塚歌劇の世界—『モン・パリ』初演80周年記念」展(予定)

開催期間／平成19年4月23日(月)～7月22日(日)

日本における本格的レビュー「モン・パリ」が宝塚歌劇団によって創作初演されてから80周年を迎えました。「ベルサイユのばら」、「風と共に去りぬ」等一世を風靡した名作は数限りなく、今日まで多くの夢を大衆に与え続けてきています。

本特別展では、没後50年を迎えた「宝塚歌劇」創業者・小林一三の事跡と、宝塚歌劇の歴史を辿りつつ、華麗なる舞台芸術「TAKARAZUKA」の魅力ある独特の世界に迫る予定です。

③「夏休み子どものための楽器展」(予定)

開催期間／平成19年7月27日(金)～9月9日(日)

実際に見て、触って、音を出して楽しむ楽器展を開催し、多くの子ども達が各国のユニークな楽器を一つひとつ手に取って楽しめる企画展になる予定です。

④「伊澤修二と日本音楽教育あけぼのの曙展」(予定)

開催期間／平成19年9月14日(金)～12月24日(祝)

小学唱歌の選定で著名な伊澤修二の音楽的業績を通し、西洋音楽の導入と相まって振興する当時の日本の音楽教育をテーマに様々な資料を展示、紹介する予定です。

3 文化講演会の開催予定

◇「華麗なる宝塚歌劇の世界—『モン・パリ』初演 80 周年記念」展 (予定)

開催日/未定

4 音楽ライブラリー事業の推進

音楽図書、楽譜、視聴覚資料の収集、保存、整理と活用。

5 教育支援活動の推進

「子どものための音楽体験学習」等の開催。

6 出版活動

- ①「民音音楽博物だより」平成 19 年春・夏・秋・冬号の発行。
- ②企画展・展示案内の発行。
- ③「民音音楽博物館・館報」第 4 号の発行。
- ④改訂版「展示カタログ」の発行。

所蔵資料

■所蔵資料概数 (平成 18 年 12 月末現在)

- ①古典ピアノ・自動演奏ピアノ・オルゴール 54 点
- ②民族楽器 620 点
- ③視聴覚資料 12 万点
- ④楽譜 4 万 5 千点
- ⑤図書 3 万 1 千冊
- ⑥自動演奏ピアノ用ロール / 1,132 巻
- ⑦オーケストリオン用ロール / 114 巻
- ⑧ミュージックボックス用ディスク / 205 枚
- ⑨美術品、写真等の音楽関連資料 11 万点

民音音楽博物館館報 第 3 号

発行日：平成 19 年 3 月 16 日

編集：財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町 8 番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <http://museum.min-on.or.jp/>

E-mail m-lib@min-on.or.jp

